

## 臨床実習委員会「活動状況と今後の展望」

委員長 金沢大学医薬保健研究域薬学系 菅 幸生

### 【石川県内の実務実習】

石川県では、主に北陸大学（11 週間）、金沢大学（11 週間：大学病院、1 週間：市中病院）の実習が行われています。さらには、ふるさと実習も受け入れています。

### 【臨床実習委員会の成り立ち】

2019 年度からの実務実習では、改訂されたコアカリキュラムに沿った内容で実務実習を行うことになりました。実務実習の考え方が大きく変わり、学習成果基盤型教育（outcome based education ; OBE）の考え方が導入されました。合わせて、ルーブリック評価も行うことが求められました。大きな環境の変化がある中で、各施設の認定実務実習指導薬剤師は、どうやって対応したら良いのだろうか？？ということ悩んでいた人が多かったのではないかと思います。

そこで、一人で悩むのではなく、石川県全体で情報を共有し、他施設で行っている実習の良いところを参考にするなど、いわゆる横の連携を構築するために、本委員会が設置されました。何より、実習で悩んでいるのは、どこも同じということ認識し、ざっくばらんに意見交換をするということも重要であると考えています。

### 【臨床実習委員会の活動と新型コロナウイルス感染症】

2019 年度は、数回の委員会を行い、本格始動を考えていた 2020 年度に向けての準備を進めていました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、石川県だけではなく、まさに、世界が一変し、その荒波の中で、実習委員会の活動も止まることとなってしまいました。現場の医療と同様に、実務実習でも大きな混乱が起こり、実習を続けるのか、中断するのか、遠隔実習にするのかなど、多くの問題が噴出しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大から 2 年が経過し、コロナ禍においても遠隔実習を有効活用することで、実務実習を完全に止めることなく、続けることができるようになりました。この間、遠隔実習に関する講演会を 2 開催しましたが、これも石川県内の実務実習の充実化につながっていることを願うばかりです。今後も、実務実習に関する情報交換・情報共有を行う場として機能するように、委員会活動を進めていきたいと考えております。

### 【臨床実習委員会への意見・提案】

実習に関して、こんなことが知りたい、こんなことをしてほしいという、ご意見・ご要望など

ありましたら、遠慮なく、臨床実習委員会委員にお知らせください。

本委員会には、認定実務実習指導薬剤師を有する会員に加え、北陸大学・金沢大学の教員も加わっています。病院実習に関係する団体が一堂に会する非常に珍しい組織になっており、委員会では、忌憚のない情報交換が行われております。ぜひ、実習をされていて気になることや大学に伝えたいことなどありましたら、ご連絡いただけますと幸いです。